

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 衛生課 | 作成責任者 |
|------|-------|--------------------------------|-------|
| 施策目標 | 26.27 | 健康で衛生的な生活環境を守る 食の安全・安心を確保する | 橋爪 廣美 |

| 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 総従事者 |
|------|------|--------|----------|------|---------|
| 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間 | 会計年度任用職員 | 派遣職員 | 総人工 |
| 1 人 | 14 人 | 0 人 | 3 人 | 0 人 | 16.13 人 |

| 時間外勤務時間 | |
|----------|----------|
| 総時間 | 一人あたり月平均 |
| 1,705 時間 | 10.1 時間 |

(施策のねらい)

| 施策指標名 | 4次実施計画の 現状値 | 目標値 (R2年度) | 実績値 | | |
|-------------------|----------------|---------------|-------|-------|-------|
| | | | H30年度 | R元年度 | R2年度 |
| 環境衛生施設の監視率 | 41.8% | 40.0% | 42.9% | 36.9% | 10.7% |
| 狂犬病予防注射の接種率 | 81.0% | 83.0% | 80.0% | 81.1% | 77.8% |
| 収去(抜き取り)検査の件数 | 120件 | 120件 | 120件 | 120件 | 92件 |
| 大規模製造・調理施設に対する監視数 | 128件 | 128件 | 136件 | 159件 | 117件 |

| | |
|---|---------------|
| 1 | 環境衛生の向上 |
| 2 | 医薬品等の使用の適正化 |
| 3 | 動物の愛護、保護管理の推進 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |
| 7 | 0 |
| 8 | 0 |

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない

実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和2年度)

| 事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do) | | | | | | | | | | | Check | | Action | |
|------------------------------|-------------------|----|------|------|------------------------|------------------------|--|----------------|-------|-------|-------|------|--------|------|
| No. | 事務事業 (第4次実施計画) | 施策 | 従事者数 | 会計区分 | R元予算(円) R元決算(円) | R2予算(円) R2決算(円) | 何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生ま (対象) (手段・方法) れた成果・効果) | 事務事業の指標 | R2目標値 | R2実績値 | 評価 | 取組時間 | 事務改善 | 休・廃止 |
| 1 | 動物愛護管理事業 | 3 | 1.18 | 一般 | 4,952,000 4,689,933 | 2,952,000 2,397,891 | 動物の愛護と適正な飼養について、飼い主への指導やマナーの啓発を推進することで快適な市民の生活環境が保全された。 | 犬猫の苦情受付件数 | 105件 | 85件 | S | 変動なし | | |
| 2 | 害虫等駆除事務事業 | 1 | 0.60 | 一般 | 1,954,000 1,091,620 | 1,298,000 1,155,066 | スズメバチの巣を駆除することで、市民生活の安全が確保された。 | 市民相談への対応率 | 100% | 100% | S | 変動なし | | |
| 3 | 食品衛生知識の普及啓発 | 1 | 1.93 | 一般 | 229,030 252,137 | 128,000 127,087 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、人が集まる講習会は実施できなかったが、ハガキでの周知やホームページへの掲載、及び窓口での資料の直接配布により、食品衛生責任者に対し、普及啓発ができた。 | 食品衛生責任者講習会開催回数 | 12回 | 0回 | A | 変動なし | | |
| 合計 | | | | | R2予算(円) R2決算(円) | 4,378,000 3,680,044 | | | | | | | | |

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

| 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action) | |
|--|--|
| <p>衛生課の事務事業数は11事業あり、うち政策的事業は3事業である。政策的事業の評価は、「S」が2事業、「A」が1事業で、それぞれ成果をあげることができた。</p> <p>「S」評価とした「動物愛護管理事業」「害虫等駆除事務事業」については、市民からの情報提供・要望を適確に把握し、適切かつ速やかな対応をすることで、動物愛護の普及、市民の安全確保を図ることができた。</p> <p>また、「食品衛生知識の普及啓発」については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講習会は1度も実施しなかったが、郵送、ホームページ及び窓口において、効果的な普及啓発をすることができた。これらの3事業については、今後も引続き、積極的に情報収集や最新かつ必要な情報発信に努めていく。</p> <p>職員の時間外勤務は、総時間は1,705時間、一人あたりの月平均時間は10.1時間となっており、前年度と比較して総時間は204時間、一人あたりの月平均時間は2.7時間増加した。その内訳は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の応援に関するものは148時間、衛生課業務に関するものは1,557時間となっており、衛生課業務分のみで前年度と比較すると総時間は56時間、一人あたりの月平均時間はわずか0.3時間の増加である。これは、時間外にかかる職員が3人減っているものの、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止した事業もあり、相殺されていると考えられる。</p> | |

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

| No. | 事務事業(事業がない場合は－) | 事務改善の内容 |
|-----|-----------------|---------|
| － | － | － |

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

| No. | 事務事業(検討事業がない場合は－) | 休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載) |
|-----|-------------------|--|
| － | － | ①「動物愛護管理事業」 犬の逸走・咬傷事故、猫の生活被害等を減らすため、マナー啓発、飼養指導の業務は必要性が高いと判断したため。 ②「害虫等駆除事務事業」 スズメバチの被害により人命が失われるなどの可能性があることから、必要性が高いと判断したため。 ③「食品衛生知識の普及啓発」 食中毒の予防など市民の健康に直結する内容であり、必要性が高いと判断したため。 |